

令和7年4月11日

保護者 各位

県立長岡聾学校
校長 佐々木 裕一

令和6年度のいじめ認知について（お知らせ）

春陽の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、令和6年度における本校のいじめ認知件数は30件でしたことをご報告いたします。なお、いじめ認知にあたっては、次の定義に照らし合わせて行っておりますので、よろしくお願いいたします。

令和2年 新潟県条例第59号 令和2年12月25日公布
新潟県いじめ等の対策に関する条例より抜粋

（定義）

- 第2条 この条例において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。
- 2 この条例において「いじめ類似行為」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該児童等が当該行為を知ったときに心身の苦痛を感じる蓋然性※の高いものをいう。
- 3 この条例において「学校」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（幼稚部を除く。）をいう。
- 4 この条例において「児童等」とは、学校に在籍する児童又は生徒をいう。
- 5 この条例において「保護者」とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

※ ^{がいぜん}蓋然性とは、「多分そうなるだろう」という可能性の程度のこと